



薬薬連携在宅医療研修会【集合】

主催：一般社団法人 埼玉県薬剤師会
協力：城西大学

在宅医療に対応した薬薬連携を推進するうえで、入退院時における医療機関と薬局の円滑な情報共有や在宅医療に関わる多職種との協働は、薬剤師に求められる重要な役割の一つです。

本年度は、病院薬剤師と薬局薬剤師がともに学び、連携を深めることを目的として、合同研修会を開催いたします。午前の部では、臨床栄養に関することやフィジカルアセスメントについて講義を行い、病院薬剤師と薬局薬剤師が共に学びます。さらに、入退院時の相互における課題を改善するため、薬薬連携ツールを共同で検討・作成するグループワークを実施します。午後の部では、経管栄養やフィジカルアセスメントについて人体モデルなどを使用した実技や、麻薬注射剤の充填やポンプの使用方法についての実技を行います。また無菌調剤業務拡充のために、注射混注手技に自信が無い方、全くの未経験の方を対象に、輸液混注を実際に行っていただきます。（午後の実習は、申込時の選択制になります）

在宅医療の経験が浅い方から、すでに実務に携わっている方まで、どなたでもご参加いただけます。ご自身のスキルアップのみならず、病院と薬局の垣根を超え、互いの専門性を共有しながら地域の在宅医療を支える薬薬連携の強化を図るためにも、多くの薬剤師の方のご参加をお待ちしております。

記

◆ 日 時 令和8年 1 月 25 日（日） 9:00~16:45（予定）

◆ 会 場 城西大学 18号館（坂戸市けやき台1-1）

◆ 定 員 35名（先着順） ◆ 申込締切 1月16日（金）

◆ 申込方法 埼玉県薬剤師会ホームページ（<https://saiyaku.or.jp>）



日薬プラットフォーム QRコード

「研修会案内」の申込フォーム（日薬研修プラットフォーム）から申し込みください。

◆ 研修単位 日本薬剤師研修センター認定単位申請中 ◆ 受講料 無料

◇◆◇ 内容 ◇◆◇

午前：【講義&グループワーク】

(1) 静脈栄養や経腸栄養を用いた臨床栄養に関する知識

獨協医科大学埼玉医療センター 薬剤部 NST 専門療法士 石関 華子先生

(2) (仮)人工栄養中のフィジカルアセスメントについて

城西大学 薬学部 大嶋 繁教授

(3) グループワーク

「入退院時共有シート」「退院時情報共有シート」「退院時情報共有シート報告書」について

午後：【実技】

A：胃ろう・経鼻胃管・経管栄養剤について実際見ることができ、
フィジカルアセスメントについて、心不全のモニタリングや浮腫を見ることが
できます。

B：麻薬注射剤の調剤（機械式カセット、ディスポーザブルポンプ）の注入・管理方法について

C：輸液混注や無菌操作・アンプルカットやバイアル希釈、連結管などの実際

コース選択 ・コース1 A+B

・コース2 C+(A/B/Cのいずれか選択制)